

- 2000年3月 九州大学経済学部経営学科 卒業
- 2000年10月 公認会計士補登録、[監査法人トーマツ福岡事務所](#)にて主に上場会社の会計監査に従事
- 2004年5月 公認会計士登録
- 2005年7月 [九州財務局](#)にて金融検査官として地域金融機関の金融検査に従事
- 2007年7月 有限監査法人トーマツにて主に上場会社、金融機関の会計監査に従事
- 2011年3月 税理士登録
- 2012年3月 本永敬三公認会計士税理士事務所を開設
- 2012年4月 [沖縄県中小企業再生支援協議会](#)の中小企業の事業再生に従事
- 2013年7月 [日本公認会計士協会沖縄会](#) 監事に就任
- 2015年12月 ReHug 株式会社 代表取締役 勇者に就任
- 2017年7月 税理士退会
- 2017年9月 [球磨川くんだり株式会社](#)の事業再生計画策定支援に着手（2020年5月まで）
- 2018年6月 中小企業庁の[認定経営革新等支援機関](#)（ID番号105047000312）として認定
- 2023年1月 [沖縄税理士会](#)で税理士再登録
- 2023年8月 中小企業庁の認定経営革新等支援機関（ID番号108147000112）として再度、認定
- 2023年7月 南九州税理士会（人吉支部）に移転

監査法人での会計監査業務だけではなく、**九州財務局での金融検査業務**、**沖縄県中小企業再生支援協議会での経営改善支援業務**の経験をもとに、地域の企業の健全な発展につながるように、経営改善支援業務だけではなく、企業経営に必要な情報把握をするための**クラウド会計（freee 会計）導入支援によるリアルタイム化と経理業務の圧倒的な効率化**を同時に提供しております。

日本公認会計士協会の第36回研究大会に「**事業再生を通して地域活性化のために公認会計士が果たすべき役割**」でコーディネーターとして登壇し、参加者にも質問・意見を求める双方向の予定調和ではなくパネルディスカッションは高評価をいただき、その後、日本税理士会連合会の第36回公開研究討論会に登壇し、「**地域と中小企業の活性化のために税理士が果たす役割**」で、**税理士の多くが認定支援機関に登録しているが経営改善支援実績が十分ではないため「適正な会計は引き続き行い、コンサル機能を発揮すべき」と提言**し、参加した税理士から拍手喝采を頂いております。（しかし、税理士会では経営改善支援の研修は行われていないようです。）

また、日本公認会計士協会の第40回研究大会「会計新時代、公認会計士の価値の創造－地域で活躍を広げる若手公認会計士－」では、生まれ故郷の熊本県人吉市熊本県人吉市の**第3セクターの球磨川くんだり株式会社では事業再生支援と同時にクラウド会計、クラウドレジなど多くのデジタル化による業務効率化を実現**したことを発表。なお、同社は2020年7月の豪雨災害で大きなダメージを受けたものの、クラウドで保存していた保険一覧により、いち早く保険請求することができ、そのほかにも復旧に必要な資料も無事であり、代表取締役の瀬崎氏は「今回の水害のように企業のリスクマネジメントの面からも業務のオンライン化、データのクラウド化は必要だと実感しています。」

（※）と今後の事業継続の観点からもクラウド化の必要性を紹介いただいています。

※：令和2年7月豪雨で被災した企業経営者が伝えたい、災害時に大切な3つの必要性

<https://note.com/irukaoyaji/n/n54cb6e7b61e0>



ReHugの本拠地の沖縄での経営改善支援、クラウド会計導入支援、インボイス・電帳法の実践的なセミナーを開催するほか、経営改善計画策定支援で重要視している計画の合理性と実現可能性をふまえているため、**事業再構築補助金の採択実績は69.6%（16社/23社）**であります。また、コロナ禍が収束に向かい始めた2023年2月からは生まれ故郷の熊本県人吉市でのインボイス攻略セミナー、コロナ関連融資資金繰り改善セミナー、経営相談などを再開し、**経営難で苦しんでいる地域の企業への経営支援を継続**しております。